

殊に吾々をして痛烈に「分裂」反對をなせしめたものは即ち近時の資本の攻勢である。世界競争に無限に血金を浪費した世界の資本主義は今や全線に亘つて絶望的攻勢を開始した。到る所にストライキは惨敗し、貨銀は下り、搾取時間は延長され、吾々兄弟が過去の悪戦苦闘に依つて、辛うじて奪つた職權までも今や、ムザ／＼運され様としてゐる。此のうちに當り、吾々のなすべき刻下の急務は、吾々兄弟の團結を二層強固に、一層擴大にすることである。

かくの如く、一方に労働階級の團結を想ひ他方に資本の反動的攻勢を見、更らに技工組合は極めて小数の團體であること想倒するべき、現在に於ては一人にも多きを加ふるは希ふも、到底「分裂」を認容することが出来ない。

第三に「分裂」論者は「聯合論者」合同論者との兩者があつては組合としての歩調を一にすることは出来ない」と主張するも、かく言つても組合の本質を辨へない愚劣極まる言辭である。組合は労働者の經濟團體であつて、決して思想團體ではない。思想團體は思想を以つて集るも、組合は職業を以つて集るものである。それ故に、思想團體はその思想の水準高き、その人数は極めて少い。組合はよしや思想の水準は低くも、その人数が常に思想團體に較べて非常に多い。無産階級運動に於ける組合の使命も、特徴もは、實にその量の大にあり、集團運動の可能にある。それ故に組合は必ずしも一つの思想を以つて統一せらるべきものではない。労働者にして警察と資本家の間諜でない範圍

この非常手段を阻止することが出来なかつた。しかも「分裂」案には票決せず、二三の案を出だし、ついで「杉浦君除名」案を提出した。しかもその理由たるや、個人的中傷反感、憎悪で殆ど最小限度の理性をたに有するもの、肯定し能はざるもののみで、只小數者の「感情」以外一歩も出ない。

吾々は吾々の團結の爲めに、々々の組合の爲めに「分裂」を防止せんとした。しかし彼等が飽くまでも、非常手段を以つて終始一飽くまでも、一つ思想を以つて組合を統一飽くまでも、組合を小數者の朋黨化し、小數者の「自由」論者がすべての組合員の自由を蹂躪し、正當の理由なく、小數者のけちな感情によつて、組合員を除名するに於ては吾々は遂に、多大の苦痛を忍び、相携へて陣を張ることの遂に不可能なるを發見する。『出なければ出るがよい』と殆ど除名同様のこの傍若無人の言動に當面しては、吾々は遂に脱退せざるを得ない。

吾々は情する。吾々の闘争は苦しい血塗られた闘争である。吾々兄弟は、喜びと悲しみと共に分けて此の苦しい闘争を、勝利の日まで續けねばならぬ。吾々の陣營は決して小數者の感情や利己心や出解目の「自由」に依つて成されてはならぬ。

に於て、少くとも資本主義に對する團結思想の持主は、凡て之を包含すべきものである。組合の態度、主張、綱領はその組合員個々々の思想如何に拘らず、その多數の意見によつて決定せらるべきものである。組合員は組合員として活動する場合は、その決定したる所に従ふに足るのである。個人個人が異つた二つの無産階級の思想を有するとも何等組合の歩調を亂すものではない。故に吾々は組合は思想團體と異なることを信するが故に、合同、聯合の兩論者ありとも吾々は毫も「分裂」の必要を見ない。

一九三二年十二月

以上を以つて、脱退理由の聲明に代へ、一般係友諸兄の賢察を仰ぐ。終りに臨んで、技工組合の古い仲友諸君よ。吾々には今日諸兄と故あつて訣別するに到つたことを悲しむ。しかし陣を異にすると雖も依然として共通の敵を有する。諸兄の健康を祈る。吾々脱退者は平らに陣容を一新して、亦新らしき戦の途に上る。

前方へ！ 萬國の労働者團結せよ！

- 竹谷町支部 一同
- 金杉支部 有志
- 豊岡町支部 有志
- 大井支部 有志
- 中央支部 有志